

# 一般質問 村上満議員 1項目を問う



村上満議員

**問** 健康増進を図る為、専門指導員の配置と、「おたて」の利用は

**答** 専門講師による、健康増進事業などを実施している  
さらに、効果的な健康増進事業を進めて参りたい

**答** 指摘のとおり、町民一人一人の健康であることが町の重要課題の一つである。現在、成人向けの「よいとれ」「元氣塾」「スポーツメイト」など、運動教室の開催。高齢者向けに運動教室をおこなっており、高齢者向けには「リハクト運動教室」など、

**問** 昭和、平成、令和と年号が変わり、昭和の代に5,000人とも言われた人口があった。現在1,380人、高齢化率も46%、このような状況を勘案すると、町民一人一人、健康であることが町にとって重要課題と思う。健康増進については、健康福祉センター、高齢者福祉センターを中心に各事業が実施されているが、町にとって重要と思う介護保険事業、住民1,380人の内、介護認定者が186人の方がおりますことから、介護認定になる以前の健康づくりが重要と考える。町民総ぐるみ健康増進事業の取り組みと、健康増進を図る専門指導員の配置について伺う。

**問** 講師には健康運動指導士の有資格者や、専門トレーナーによる指導を受けているところ。健康事業の種類も多様であり、状況に合わせて選択しやすいよう、今後も専門講師の招聘や外部委託などを効果的に組み合わせる実施してゆきたい。

**問** 「おたて」がオープンして日が浅いが、地元の方々も余り利用されていないように見られる。体育館もあり、冬期間運動ができる環境にある。町民誰もが健康増進を図るため、町民健康センターにする考えは無いのか。

**答** 街道ホステル「おたて」は滞在型交流人口の拡大を図るため、改修した施設。町民健康増進センターとして使用することは補助事業の目的に反することになるので、現在は困難である。ただし、この施設を利用して健康増進のため事業を実施することは可能であると考えられる。



▲街道ホステル「おたて」

**問** 健康保険、介護保険、後期高齢者保健、生産年齢人口が減ってくれば町の財政負担も大変になる。今年度の振興計画書の中に健康増進計画を盛りこむ考えは。

**答** 本町は健康増進施策について、他市町と比べ消極的ではないと思っております。健康づくりについては、重要な位置づけとして、さらに磨きをかけ、今後とも進めてゆきたい。第6次の長期総合計画の中で、健康づくりの部分については、関心を持って示して行きたい。最終的には3月議会の中で認定をして頂く、手順になると思う。

# 一般質問 武蔵重幸議員 1項目を問う



武蔵重幸議員

**問** 入浴施設チップボイラーの選定と活用は

**答** 国内で実績のあるボイラー業者  
安定稼働に務める

**問** ボイラーは計画通りに施設内の融雪と、国道の融雪が経済的にも可能なのか。

**答** ボイラー能力は、建設設計時に国道などの融雪に必要な熱量も含んでい

**問** 入浴施設の為に設置したチップボイラーは、設計通りに稼働しているのか、補助用のバックアップ用の重油ボイラーが主力になっているのでは。

**答** 4月稼働以降、チップボイラーのエラーは、6件で8月末までの燃料消費量は、チップ材280m<sup>3</sup>、A重油2・4kl、使用稼働日数ではチップ材が約9割の95日分、A重油が約1割の12稼働、8月末にオーストリアのKW B本社より主任技師を呼び、点検整備を講じて以降安定稼働となった。

**問** チップ材と重油の稼働日で9・1とのことだが、地元以外からの購入の理由と、単価はどのくらいか。

**答** 地元業者のチップ水分含有率が45%と高いため山形の業者から購入している。単価は1m<sup>3</sup>当たり3500円から5000円です。

**問** ボイラーを活用することによって地元のチップ生産業者、町内林家の支援活用をどのようにしているのか。

**答** 燃料用のチップは、地元業者より、購入しているが、計画しているチップ生産が軌道に乗るまでの暫定的なものである。チップ材生産では、適期を迎えた森林を有効に整備し、森林再生を進めることが本来の目的であるが、どの程度のチップ生産で採算ベースに乗せることが可能か地元の業者、林家と協議検討を進め、今年度中にまとめたい。



▲チップボイラー

**問** 以前に旧湯原小学校、関小学校体育館に設置した暖房用チップボイラーで失敗したにも係わらず決定した理由は。

**答** 以前の失敗を繰り返さないために、現在国内で使用しているボイラーの中で一番効率的であるとの評価で選定した。